



大阪府における公民連携の取組みについて

スピーディーな
公民連携

令和元年6月

大阪府 公民戦略連携デスク



1. 「公民戦略連携デスク」とは

Keyword 1 ワンストップ窓口
One-Stop Service

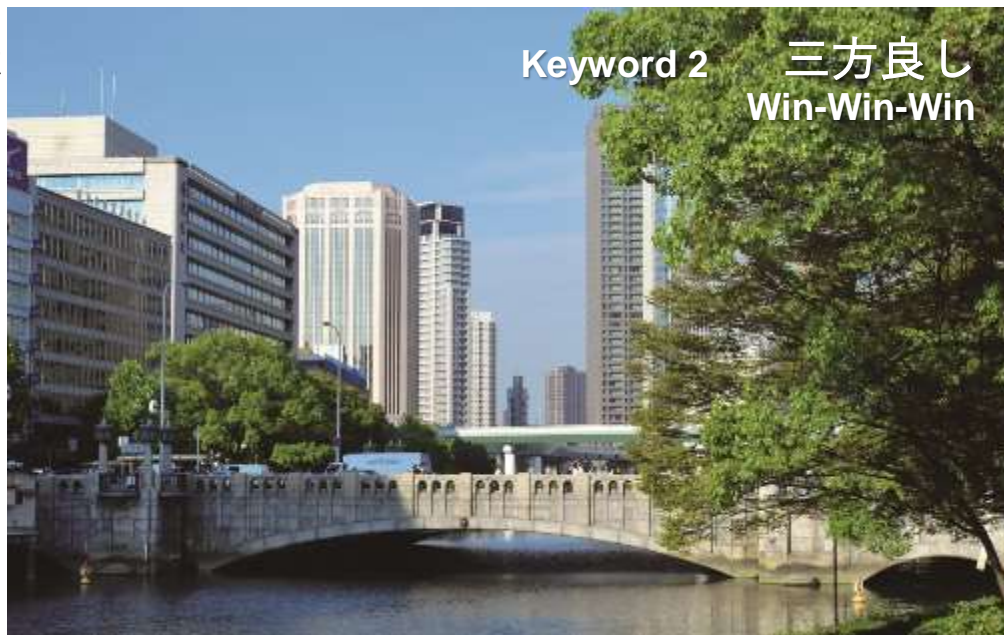
平成27年4月に設置
「**公民連携の旗振り役**」として民間との連携を推進
専任部署を設けるのは**都道府県初**

企業・団体と大阪府・市町村をつないで、イノベーションをおこし「**プラットフォーム（HUB）**」として「**スピーディー**」に
公民連携を進めていく専任部署

近年、企業の社会的責任として取り組む従来の社会貢献活動である**CSR**だけでなく、人口減少や高齢化といった社会の共通課題に対して、企業の本業を通じて解決に取り組む**CSV**、いわゆる「公と民による共有価値の創造」が拡大

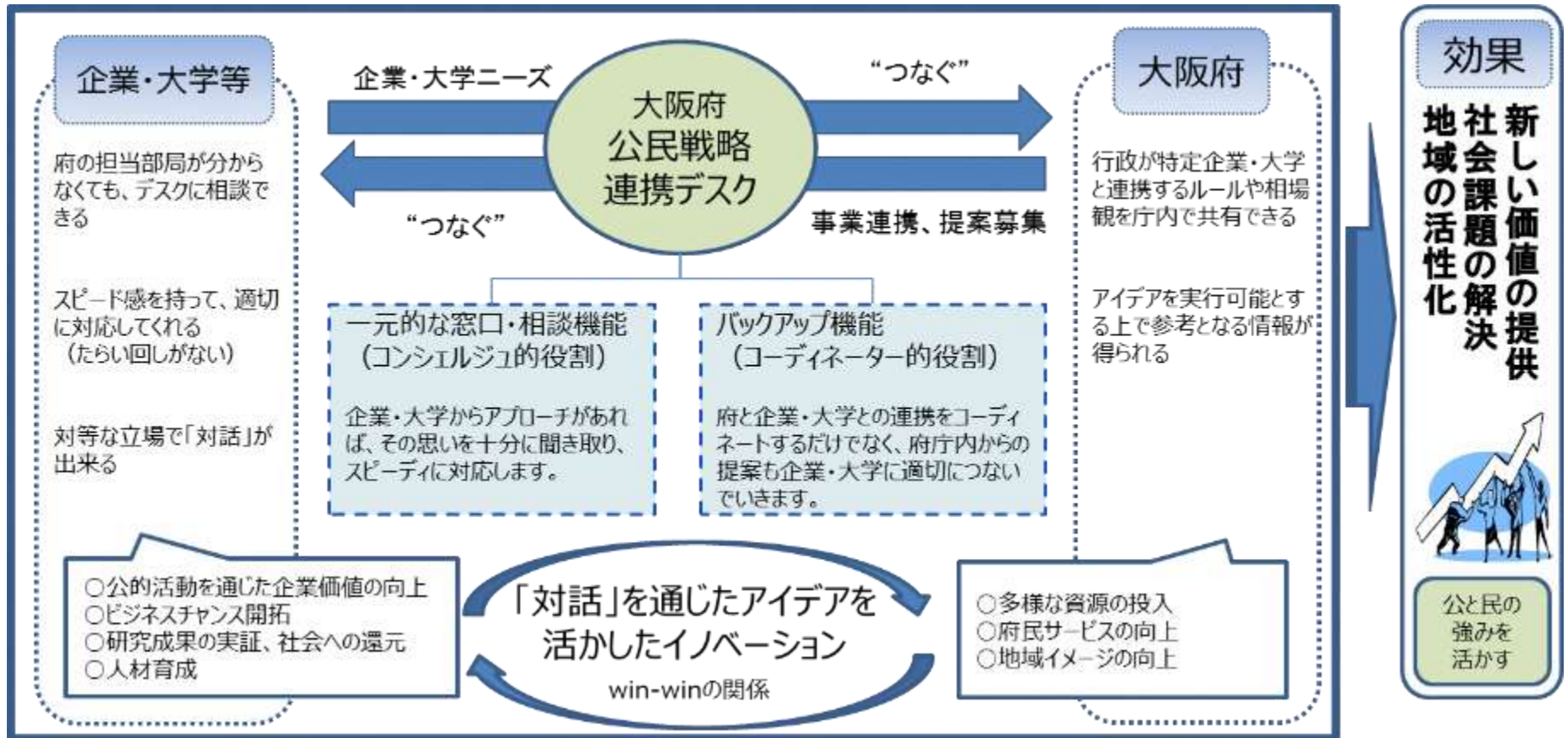
このCSVに着目し、府民・企業・行政にとつての「**三方良し**」を目指す

Keyword 2 三方良し
Win-Win-Win



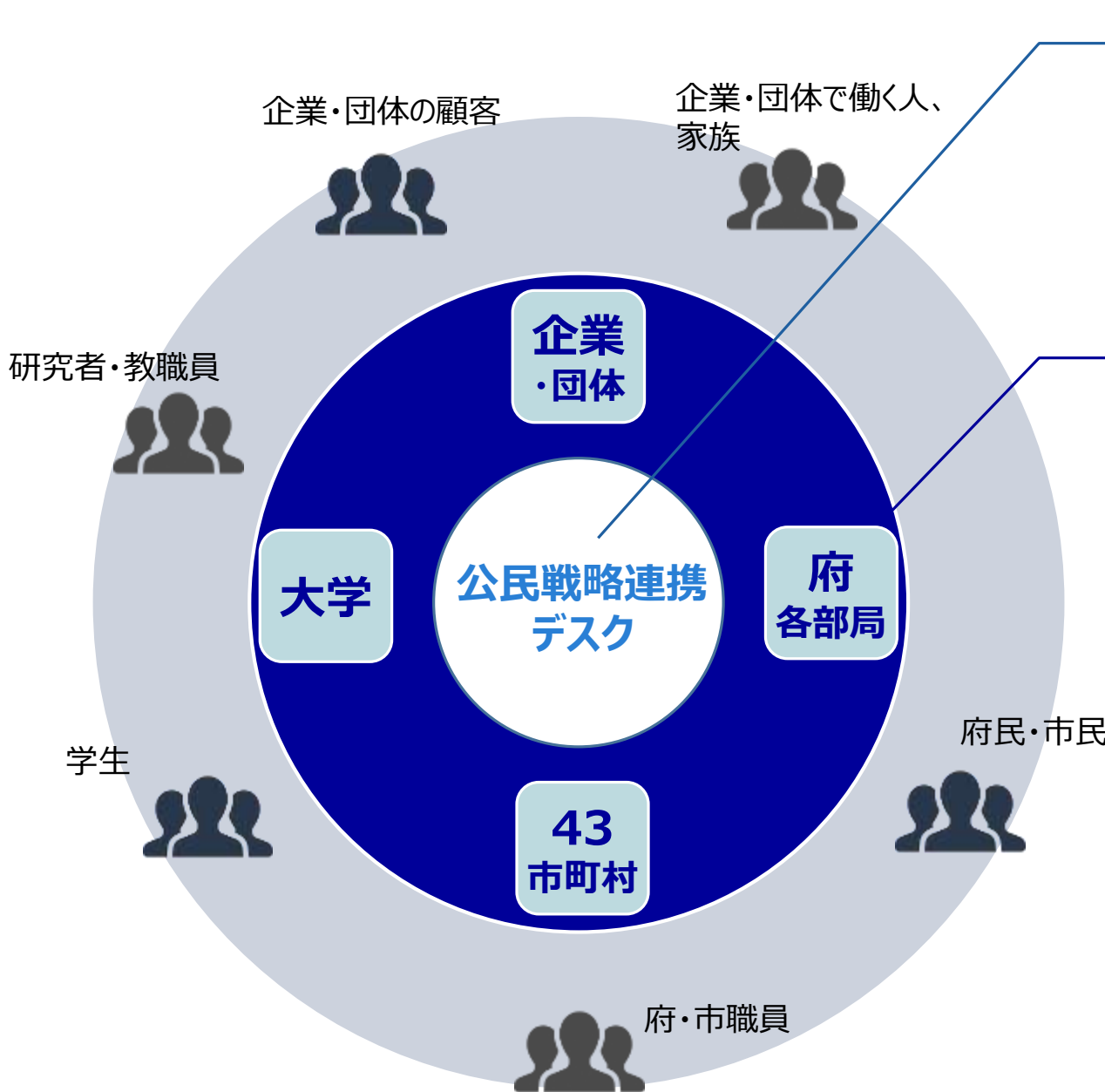
1. 「公民戦略連携デスク」とは

- 企業・団体と大阪府・市町村をつないで、イノベーションをおこし「プラットフォーム（HUB）」として「スピーディー」に公民連携を進めていく専任部署





1. 「公民戦略連携デスク」



HUB機能

公民戦略連携デスクにつながることで、様々なステークホルダーと接点を持つことができる

プラットフォーム機能

公民戦略連携デスクと繋がりをもつ様々な事業者（公・民）が集まっている

包括連携協定の数
：49社4大学

Well-Being OSAKA Lab
参画企業数：122企業

繋がり数
：640企業・団体

1. 「公民戦略連携デスク」とは

Keyword 3 SDGs (持続可能な開発目標)
Sustainable Development Goals

2025年国際博覧会の開催を通じて達成を目指すSDGs
(持続可能な開発目標)

大阪府では公民連携を通じて、**SDGs**の取組みを推進

貧困や飢餓、健康・福祉、教育、エネルギー、まちづくり、技術革新、平和など17の目標と、達成するための具体的な169のターゲットに基づいて、未来社会をデザイン



2. 連携項目



連携項目（案）

子ども・福祉

健康

雇用促進

地域活性化
(万博 SDGs)

安全・安心

府政のPR

中小企業振興

女性活躍

環境

新規案件

3. 具体的な取組み例 (府政PR・地域活性化)

➤ 府政のPR・大阪の魅力発信

様々な府政情報の発信



インターネットテレビ、機関誌、
屋内外サイネージ ATM画面 ほか

・りそな銀行、大阪信用金庫、関西ぱど、大阪信用金庫、ハークスレイ、FC大阪をはじめ、包括連携協定締結企業は全て、新たな顧客開拓や信頼性の向上、社会貢献活動の一環として、各社のネットワークツールを活かして府施策のPRに協力



大阪府チャンネル (インターネットテレビ)
毎月第一木曜日12時00分～生配信
企画・運営：大阪府 協力：FC大阪



OSAKA愛鑑 (おおさかめいかん)

➤ 市町村と連携した取組み

・FC大阪の運営協力のもと、大阪府及び市町村の人やものの魅力を『大阪から世界へ』発信するため、市町村とも連携しながら「OSAKA愛鑑」のHP・SNSを開設。インターネットの他、ラジオや地域テレビなどでも大阪の魅力を発信。大阪府チャンネルもその取組みの1つ



➤ 地域活性化に関する取組み

大阪産(もん)の普及・促進



・大阪産 (もん) の消費拡大を図るため、ブランド化を推進
・キリンビールによる大阪産 (もん) と自社のご当地ビールをPRするポスターの掲示、レストラン「旬穀旬菜」(グランフロント大阪)における大阪産 (もん) を用いたメニューの開発・提供、セブン-イレブン・ジャパンやローソンでの大阪産を活用した商品開発・販売などを実施



<旬穀旬菜 大阪産 (もん) フェア>



<大阪産 (もん) 麻婆茄子丼>

<八尾若ごぼうと小エビのおむすび>



<大阪産 (もん) みかんサンミー>

3. 具体的な取組み例（子ども・雇用）

➤ 子どもに関する取組み

府内で生まれた赤ちゃんへのプレゼント

- ・いずみ市民生協をはじめ府内3生協が実施。
- ・子育て家庭を応援するため、乳幼児家庭に対して、粉ミルクやおむつなどを入れた「はじまるばこ」をプレゼント
- ・これまでに約3万個をプレゼント（2017.4～2019.3）
- ・府内全市町村と連携し、母子手帳申請や訪問時に案内チラシを配布するなど府内全域の取組みが実現



「とまとちゃん」福祉基金活動

- ・いずみ生協が設立した基金を活用し、子ども食堂の運営費等府内59団体へ13,735千円の寄附（2017年1月～2019年3月）

子ども達の多様な体験機会の創出



- ・FC大阪やリコージャパンによる、トップアスリートとの触れ合いや試合観戦への招待
- ・ET-KING(BARIKI)によるライブへの招待



➤ 雇用に関する取組み

支援学校等の生徒を対象とする研修の実施



- ・セブン-イレブン・ジャパンと連携し、支援学校の生徒等の研修を実施。
- ・同社の研修センターにおいて、レジの打ち方や接客などについて、障がい配慮して考案されたプログラムによる実践的な研修を実施
- ・2017年度、2018年度の2年間で、生徒・教員等164人が参加



女性雇用の促進

- ・雇用施策の一環として、女性の就業率向上に向けて、多様な働き方に関して情報を発信
- ・女性の雇用を進めている企業や、女性活躍に貢献できるサービスを有する企業と連携し、イベントを開催。10を超える企業にご協力を頂いている

シニア雇用の促進



- ・雇用施策の一環として、「高齢者の就業の場」を開拓
- ・セブン-イレブン・ジャパンと連携し、仕事説明会を開催（2015年6月～：100名採用/年）
- ・セブン-イレブンでの採用に加え、連携企業が増加し、取組みが発展



4. 今後の公民連携の取組み

- 「今一番アプローチが必要なテーマ」を設定し、**複数の事業者(公・民)間**による対話から様々なアイデアを生み出す
⇒ 新しい仕掛け 『創発ダイアログ』



4. 今後の公民連携の取組み

◆複数の事業者(公・民)間による「対話」からアイデアを生み出す新たな取組みとして『創発ダイアログ』を開始(2019.2～)

公民連携で解決すべき行政課題・社会課題をテーマに設定し、多数の参加者(公・民)による対話から様々なアイデアを創出し課題解決を目指す。

今まで…企業等と府の1対1の取組み

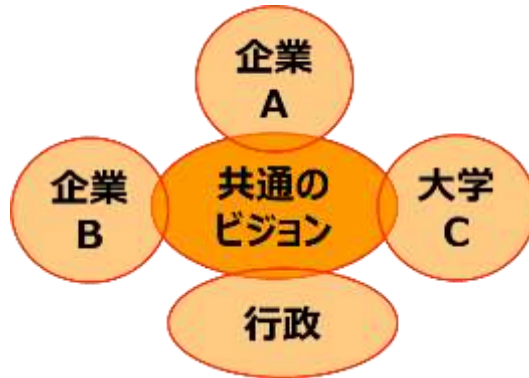
今後…今までの取組みに加え、複数の事業者を巻き込んだ新たな取組みを推進

【創発ダイアログ実績】 毎回30社以上が参加

- ・テーマ「健康」(2018年2月)
- ・テーマ「子どもの貧困」(2018年6月)
- ・テーマ「環境」(2019年5月)

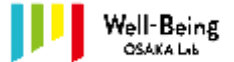
【今後の予定】

- ・テーマ「障がい者雇用」(2019年10月予定)



【創発ダイアログから生まれた取組み例】

- Well-Being OSAKA Lab の設立
- ・大阪府と企業・大学が連携し、働き方改革や健康経営等に関する課題・情報を共有し、課題解決に向けた取組みを進め、発信
- ・2019年4月末時点で122団体が参画



- 大阪府SDGsスペシャルマッチ・おおさか子どもデーの開催
- ET-KINGによるライブへの無料招待 など
- リコージャパンによるラグビートップリーグ試合観戦招待
- 積水ハウスによる梅田スカイビルへの招待
- 子ども食堂見学会

5. 公民連携の1年間の取組み効果（平成30年度）

◆ 包括連携協定締結数

10件（累計39件49社4大学）



◆ デスクがコーディネートした
企業・大学と部局との連携数

328件（※平成29年度：260件）

◆ ネットワーク企業数

640社（累計）

◆ 直接的効果額
（デスクが関わった取組みについて「仮に府が
直接実施した場合に必要な金額」を試算）

2億3,000万円（平成29年度：2億3,000万円※）
※平成29年度は、万博誘致に係るパートナー協賛等の7,700万円を除くと約1億5,000万円

◆ 府民・地域社会に及ぼす効果
（金額では表せない効果）

公民連携による新たなサービスの創出
（子ども・教育、健康、安全・安心、雇用等に関する取組み）

◆ 公民連携を拡げる取組み

公民連携フォーラム、創発ダイアログ（※）の開催
※公民連携で解決すべき行政課題をテーマに設定し、複数の事業者（公・民）間による対話から様々なアイデアを生み出す
公民連携の新たな仕組み

CSRやCSVなど幅広く取り組まれている公民連携

どんな形でも、まずは「**対話**」からスタート！

**みなさま、お気軽に公民戦略連携デスクまで
ご相談ください！**



公民戦略連携デスク（12名の専任スタッフ）

連絡先：大阪府庁本館4階 06-6944-6401（直通）

メールアドレス：koumin@gbox.pref.osaka.lg.jp

▼公民戦略連携デスクホームページ

<http://www.pref.osaka.lg.jp/gyokaku/kohmin/index.html>